

團體は更に新陣容を立て直し院内
進行を促して第二第三兩派を
連繫すべく目下天々英気を練りつ
つこれが策謀準備である而して
長春院内外の各團體から成る
國聯合同志會では十一日夜の政
本部署に於ける

警

官隊の進行に關し之を
議會の問題とし大に
府を諷刺すべく憲政會の森田茂
木武吉小泉次郎諸氏の名に依
て左の質問を提出した

一、大正九年二月十一日紀元節
住辰を下し民衆の爲したる警
選挙促進の運動に當り警察官
は民衆に對し強行並に後辱の
爲ありたり

(一)日比谷公園警察附近に於
て衆議院議員田中善立氏に對し
氏の徳元を捉へ暴行を爲した
(二)立憲政友會本部を保護せる
官は立憲運動黨員山口正憲氏
政友會本部内に潜める壯士の
二十餘ヶ所の傷害を加へられ
るは抑はらず之を保護せざり
のみならず却て傷害の機會を
与たり

(三)右民衆を拘束するに當り警察
官は僅に之に鞭撻を加へた
しきに至つては状況調査の爲め
出動せる新聞記者に對してすら
暴行を加へて喧嘩を起し起る非道
ありたり。以上の事實は實に若
人之心を屈辱せるのみならず各
新聞紙の保護する所なりとす政
府の説明如何

官營工場

補の下つこのの
くわんえい せう
補母子も出來て
八幡鐵廠所屬工に對する其筋の檢
束頗る辛辣を極めたるを憤慨し
旁同工場内に潜める警官を一掃
する目的を以て勇友會の木村純吉
氏外二名は十二日午後一時廿分
京して友愛會本部に入り先發入
京の藤田俊次郎外數氏と落ち合つた
同氏等は「今度の檢束は事實

東大相撲

友愛、勞友の二代表者

農相に會見

新たななる當局の回答を求む

八幡 より上京せる勞友會の白仁 聖徳所々長官の職

代表者相原幸三郎友愛會支部代表則の要求に對する回答を聞き返
者木村純吉氏外三名は友愛會長新たなる回答を母兼て今後の友
餘木文治氏の照會により十三日山を降くべく友愛會勞働
本農相に面會を求めたり農相は之
れを避け崎川嶺山、四條工廠兩局
長に面會しては如何と答へ來りし
が鈴木氏は

農相 に面會を申込みたる
ものなれば兩局長は農相の代理と
見做しても多數やを突き込み農商
會則は更に再考すべしとの事に
は其體物別れとなりしが勞友會
は是非農相に面會を求め

團體の手により勞
友會を助け製鐵所
の革新を言明せる
同會の改革を圓滿
に結ぶにあらずら
ば就業せす主張
しつゝあり